

八剱八幡神社参集殿

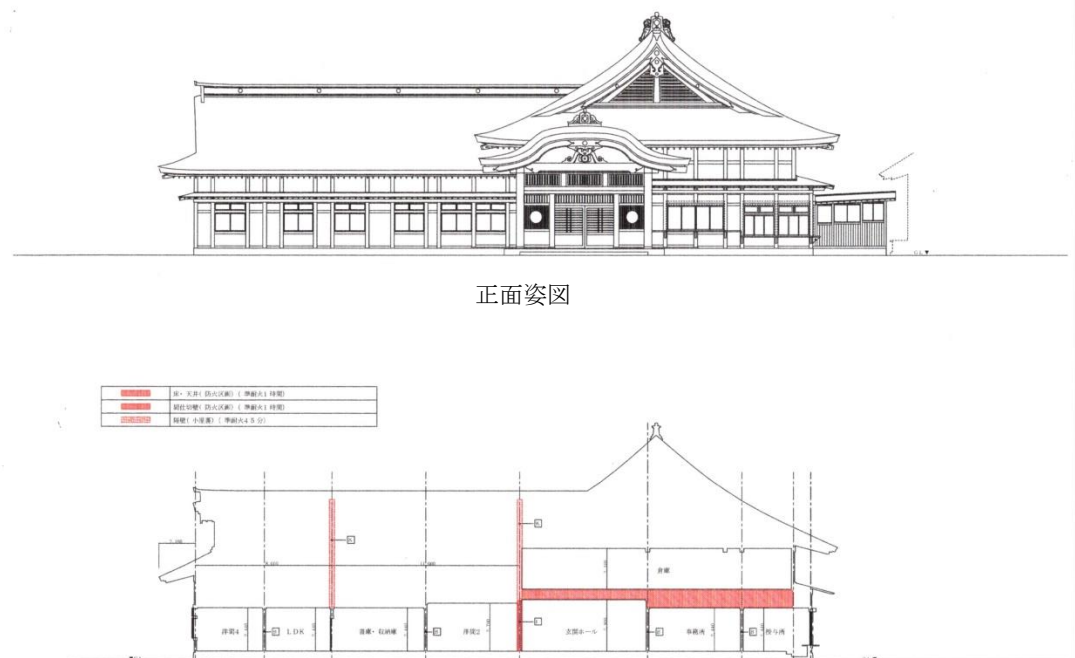


木更津駅近くにあり市の象徴となる参集殿
建築にしたいとの事でした。準防火地域で、
845㎡の大規模になるため、伝統的な、
木造建築は無理とされていました。
準耐火建築物ですが、無垢の木材を使用し
主要構造、柱、桁、梁等は、燃えしろを、
考慮し木造構造計算した、純木造建築です。
神社建築特有の、軒付の、伸びやかな線と
妻の棟から、軒先へ流れる野地の、美しい
線を大切に、正面玄関は、重厚な曲線を、
生かした唐破風造の、銅板葺き屋根とした。
参集、事務、管理のエリアを、明確に分け
動線が混乱しないよう計画し玄関ポーチは
スロープにし、雨天時に、直接車を、止め
られるスペース確保した。

柱 234 本、木材、総使用量、325 トン



配置・平面図



正面姿図

断面図



控室 87 帖



大玄関 ホール